

公益社団法人愛知県医師会 第5回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年5月15日(木) 午後2時30分～午後4時00分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤 健一

城 義政 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗 櫻尾 富二

樋口 俊寛 伊藤富士子 瀬瀬 雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬紀

欠席者 松尾 清一

議事録作成者 横地 宏和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者21名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①(株)メジカルビュー社の行う研修会「ロコモ対策 運動器疾患／骨・関節フォーラム」〔8/30(土)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(2)がん免疫療法イノベーション研究会(世話人代表 林 衆治：一般財団法人グローバルヘルスケア財団理事長)主催の「がん免疫療法イノベーション研究会」発足シンポジウム〔6/4(水)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

柵木会長より、主催団体について説明された。

- (3) 一般財団法人日本消化器病学会東海支部(会長 後藤 秀実:名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学教授)主催の日本消化器病学会東海支部 第95回市民公開講座〔12/14(日)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。
- (4) 平成26年度第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会〔5/30(金)〕への登壇について
市川理事より説明があり、稲坂理事の登壇が承認された。
- (5) 愛知県訪問看護ステーション協議会(仮称)の理事及び監事の推薦について
市川理事より説明があり、理事として市川理事、監事として事務局の高田部長を推薦することが承認された。
2. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔6/3(火)〕開催について
(愛知県医師会主催:7階救急医療情報センター)
稲坂理事より説明があり、標記訓練の開催が承認された。
3. 第3回愛知県医師会選挙管理委員会〔5/15(木)〕開催について
(愛知県医師会主催:805会議室)
市川理事より説明があり、標記委員会を開催することが事後承認された。
4. 平成27年厚生労働省関係叙勲及び褒章候補者の推薦について
市川理事より説明があり、可世木理事を候補者として推薦することが承認された。
5. 公衆衛生関係功労者に対する知事表彰について
市川理事より説明があり、推薦順位を年齢順とし、久野一典先生、山本真一先生、小澤徹先生、水野美穂子先生の4名を候補者として推薦することが承認された。
6. 日医代議員と本会役員との合同協議会開催日程の変更について
(愛知県医師会主催:5階医師連会議室)
市川理事より説明があり、5月29日(木)開催予定であった標記協議会の開催日を、6月26日(木)へ変更することが承認された。
柵木会長より、日医役員選挙の態勢が分かる時期に開催し、県医師会としての方向性を協議する予定であると発言された。
7. 全国学校保健・学校医大会における日本医師会長表彰候補者の推薦について
吉田理事より説明があり、候補者として、学校医:後藤典先生、養護教諭:近藤友子先生、学校関係栄養士:林紫先生の3名を推薦することが承認された。

8. 社会福祉専門委員会の名称変更について

樋口理事より、7月から「社会福祉専門委員会」の名称を「地域包括委員会」へ変更すると説明され、市川理事より、名称が漠然としているような感じがするのでもう少し具体的な名称にしてはどうかと発言された。

柵木会長より、どのような事業を行っているか分かりやすい名称を再度検討するよう発言があり、継続審議となった。

9. 母体保護法指定医師の指定について

伊藤（富）理事より説明があり、転勤4名、新規指定3名、開業2名（うち1名は新規指定と重複）、医療施設名称変更2名の申請が承認された。

—協議事項—

10. 会費の減免申請について

可世木理事より説明があり、名古屋市立大学医師会から申請のあった、会費減免申請が承認された。

11. その他

—報告事項—

1. 日医財務委員会〔5/10(土)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

山本副会長より、議事にて平成 25 年度決算報告があり、その内容について報告された。

柵木会長より、広報へもっと予算を配分すべきという意見があると発言され、加藤理事より、広報への予算配分方法について発言された。

2. 平成 26 年度第 1 回愛知県救急業務高度化推進作業部会〔4/25(金)〕について

(愛知県救急業務高度化推進協議会主催：愛知県白壁庁舎)

稲坂理事より、事務局から今年度の事業スケジュールについて説明があり、救急救命士の処置範囲拡大に関する実施方法、教育カリキュラム、プロトコール、検証方法等の協議を 8 月初旬までにとりまとめ、追加講習を 9 月～12 月に実施予定である事が周知され、処置範囲拡大時におけるオンライン MC 体制による指示、検証体制については、運用面を勘案して検討を重ねる旨を確認したと報告された。また、平成 26 年度第 1 回全国メディカルコントロール協議会連絡会へご自身が参加するにあたり、愛知県の実情をまとめるため小委員会を開催予定であると発言された。伊藤(健)理事より、救急救命士の処置範囲拡大に関して、医師の指示に基づくこととなるが、その際の責任の所在については問題があると発言された。

3. 救急医療情報センターにおけるゴールデンウィーク期間中の案内状況について

稲坂理事より、今年度のゴールデンウィーク期間(4月26日～5月6日)11日間の総受信件数は、8,669件であった。昨年と比較すると、856件、約10%減少した。前半に3連休がなく、需要が分散したのが要因と思われる。問合せの集中する時間帯を除き、概ね滞りなく対応する事ができた。電話による問い合わせが、昨年と比較すると減少し、インターネットの利用数が増加していると報告された。

4. 産業医研修会〔5/8(木)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

西山理事より、参加者は142名であったと報告された。

5. その他

・愛知県広域予防接種事業における接種件数について

瀧瀬理事より、4月の接種件数は96機関で406件であったと報告された。

柵木会長より、今後件数が伸び悩んだ場合は、広報の必要性を検討していくと発言された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年5月15日